



# SGS NewsLetter

第6号

発行日 2012年9月1日

## 学部長あいさつ「コミュニケーション力」



学部長 松林 正一郎

SGS NewsLetter 第6号をお届けします。

大学生が社会に出るにあたって、コミュニケーション力が求められているようです。8割以上の企業が新卒大学生の採用選考に当たって最も重視するものとしてコミュニケーション力を上げています。一方、グローバル人材の育成が課題として官民で取り組まれています。グローバル人材に必要な3要素の第一が英語力を踏まえたコミュニケーション力です。それに加え、第二に主体性、チャレンジ精神、協調性、使命感など、そして異文化理解と日本人のアイデンティティーを持つことがグローバル人材の要素とされています。

短く縮めて『コミュカ』と呼ばれるコミュニケーション力が、どうして、これほどに重視されているのでしょうか？社会からみると、最近の若者に豊かなコミュカが不足してきていることの様です。コミュカのある学生を選んで正社員として採用したいようです。確かに学生を見ると、携帯電話やスマートフォン中心の生活で、パソコンやゲームの利用が当たり前になり、人と人の挨拶、対話、議論を十分経験出来ていない若者が多くなっています。街で人に道を聞くのも躊躇し、人に道を聞かれるのも避けるような話も聞きます。

企業は採用選考に当たってコミュカを最も重視するということで、何度も面接を行います。表面的なコミュカはリハーサルや、マニュアル

で多少は身に付きますが、企業は複数回の面接で表面でなく、本当の力を見破ろうとします。企業が面接のコミュカチェックで重視する点は、まず、質問者の意図を理解できるか？臨機応変の対応ができるか？マニュアル頼りでないか、ということの様です。SGSの学生とコミュカについて討議していると、コミュカで重要なのは相手の思っていることや言っていることを理解する方が、自分の考えや想いを伝えるより重要であるという認識にあります。また、文字や言葉だけがコミュニケーションの道具ではなく、表情や様子、挨拶や想いが重要であると解っています。

SGSはファミリスピリットの小さなキャンパスで、少人数のクラスにこだわり、双方向対話型の授業を重視しています。コミュニティ活動やボランティア活動を支援し、短期長期の海外留学を薦め、コミュカを磨いてもらうことを強く意識したプログラムとしています。また、SGSは基礎教育、専門教育科目の構成が異文化理解を中心とし、ホスピタリティマネジメントなど人と人との関係を大切に、人の困っていることを助ける思いやりやサービス精神を身につけることができるような構成にしています。今、コミュカが若者に不足するといわれる中、SGS生は豊かなコミュカを培い、社会に貢献してもらいたいと期待しています。



**今後のスケジュール**

- 9月21日(金) 秋入学式, 秋卒業式
- 9月24日(月) 秋学期 授業開始
- 10月1日(月)~5日(金) 秋学期 履修科目登録期間
- 10月12日(金)~10月18日(木) 秋学期 履修科目確認期間
- 11月3日(土)・4日(日) 学園祭
- 12月25日(火)~1月5日(土) 冬休み
- 1月28日(月) 秋学期 授業終了
- 1月29日(火)~2月2日(土) 秋学期 期末試験期間
- 2月4日(月) 春季休業期間 開始
- 3月30日(土) 春季休業期間 終了

発行責任者:  
学部長 松林 正一郎

多摩大学  
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805  
神奈川県藤沢市円行  
802番地  
Tel:0466-82-4141



## 学園祭 “SGS Festa” を開催

今年は、**11月3日(土)・4日(日)**に開催!

後援会役員の皆様のご協力によるコミュニケーションスペースを今年もオープン。

保護者様には、是非ご子弟の情報交換の場としてご利用いただけます。

**ぜひ、学園祭にお越しください。**

## 後援会定期総会・懇親会を開催

グローバルスタディーズ学部第4回後援会定期総会が6月16日（土）、湘南キャンパスにて開催されました。

平成23年度の活動報告と決算報告、平成24年度の活動計画と予算案が発表され、参加の皆様（委任状含む）のご承認をいただきました。その他、会則の改訂についてもご承認をいただきました。

また、平成24年度の役員を後援会役員会で選出し、日高京子会長をはじめ役員の留任及び新役員を選出し、賛同多数により可決いたしました。

総会后、特別講演として大学のキャリア教育や就職支援コンサルティング等で活躍されている常見陽平氏をお招きし、「現在の就職活動と親の役割」をテーマに講話いただきました。併せてキャリア支援説明会として、第1期卒業生2名、第2期卒業生2名によるパネルディスカッションを実施、就職活動の経験を中心に、参加した保護者様と在籍生にたいへん参考となるお話をいただきました。

懇親会では、会員の皆様、教職員が多数参加いたしました。会員同士の懇親を深め、教職員とも和やかに懇談しながら有意義な時間を過ごしました。



### 平成24年度後援会役員

会長	日高 京子(4年生在籍)
副会長	星野 賢(4年生在籍)・秋元 龍之輔(3年生在籍)・Mark Zion(SGS学生委員長)
監事	鳥越 澄夫(3年生在籍)・松田 千久(2年生在籍)
理事	荒井 正子(4年生在籍)・西 恵美子(4年生在籍)・山下 ハル子(3年生在籍)・ 内藤 敦子(2年生在籍)・御影 雅良(2年生在籍)・小山 明彦(1年生在籍)・ 菅野 陽子(1年生在籍)・中村 和臣(1年生在籍)・深澤 由香(1年生在籍)・ 堀 裕子(1年生在籍)
常任理事	松林 正一郎(SGS学部長)・宮地 隆夫(SGS事務長・国際交流課課長)・ 東海林 耕太郎(SGS総務課課長)・清水 克巳(SGSキャリア支援課課長)・ 瀧川浩人(SGS学生課課長)

## 国際交流

7月19日（木）夕方、カフェテリアにて、交換留学 体験報告会を開催し、この2年間に提携校で学んだ6名の学生が流暢な英語で、各大学の紹介、現地で学んだこと、留学を通じて得たもの等をトピックとしたプレゼンテーションを行いました。

また、この夏休みには、短期留学プログラムのみにも25名が参加します。昨年度は長期交換留学生が7名いたことを考慮すると今年度はやや低調です。春休みの留学生が増えることを期待しています。

UCLA（米国）1名、ハワイ大学（米国）6名、  
RMIT（オーストラリア）1名、CPIT（NZ）2名、  
シェフィールド大学（英国）2名、台湾 13名

参加する学生には、語学力を含めた様々な面で力をつけ、元気に帰国することを願っています。

秋学期からは、5名の交換留学生（ドイツ2名、オーストラリア1名、シンガポール2名）、1名の正規留学生（中国）がSGSに仲間入りするとともに、10月には、提携校であるシンガポールのナンヤンポリテクニクからの14名の学生が2週間SGSで学びます。

歓迎会をはじめとした様々な交流イベントを企画します。学生諸君の参加、大歓迎です。



## 救急法講習会（普通救命講習Ⅰ）



SGSでは、昨年度より救急法講習会（サークルユニオン主催）を導入しており、今年は8月6日（月）に実施しました。藤沢北消防署善行出張所の消防士1名と救急ボランティアスタッフ3名の方がお越しになり、参加者30名が4班に分かれ9：00から3時間の指導を体育館で受けました。

内容は、普通救命講習Ⅰにあたり、成人に対する心肺蘇生法を中心に、AEDの使用法、止血法を学びました。学内をはじめ各施設等でAEDを日頃目にしていますが、実際使用するのは当然初めてのことで、人命に関わることなので、参加者全員真剣に学びました。

またいずれの場合も、多くの人の助けを借りて救急対応することの重要性も痛感しました。

SGSでは、各課外活動団体（学生会・学園祭実行委員会・サークルユニオン所属の各サークル）最低1名は救急法の受講修了者がいるように指導しています。今回は集中講義とバッティングして受講できない学生もいましたので、冬に再度開催することを検討しています。また、学生の要望があれば、普通救命講習Ⅱ（講習Ⅰの内容に筆記試験、実技試験を課したもの）の開催も検討します。

# キャリア 2012内定状況・インターンシップ先一覧

4年生(2013年3月卒)の就職活動は、就職活動開始時期が10月から12月と2か月遅くなりました。これにより、選考時期や内々定を出す時期を例年より遅くする企業が増え、従来、求人数が減少する夏以降も求人数は増加しています。このNewsLetterが届くころには、本学では約半数の学生に内々定が出ていると思いますが(別表1参照)、秋以降も採用を継続したり、新たに採用活動始める企業も増えますので、着実に活動を続けられれば、良い成果が出る年となります。

別表1

主な内定先	
旅行・観光 ・イベント	エイチアイエス、富士屋ホテル
商社	大塚商会、日立ハイテクマテリアルズ、ヴィックスコミュニケーション、ペンダーサービス
運輸・物流	東港丸楽海、神奈中バス
食品	岩塚製菓、東海澱粉、鈴廣蒲鉾本店
外食 ・フードサービス	フォーシーズ、銀座久兵衛、テンスターズダイニング、ドリームダブルコミュニケーション、日本マクドナルドファールディング、ニュートン、日本食研
小売・流通	セリア、トータス、オーケー、カメラヤ、コーナン商事
アパレル ・衣料	ワールドストアパートナーズ、AOKI、リアライズワークス、ユニクロ
金融	第一商品
機械・プラント	日本ビソー、日本テクノロジーソリューション
その他製造	ザ・バック、メイワボックス
情報・通信 ・メディア	ソニーミュージックエンターテインメント、NTT番号情報、ピーコインフォメーションテクノロジー、デザイン、ジェノバ、ジュエアイビー
サービス ・コンサルタント	バイオテック、リビエラ東京、MIDDLE MAN、KERN COUNTRY CARE FACILITY、テンブスタッフ、サニーテーブル、進和学園、キャリア、ヘルセ、オリエンタル工業
教育	ECC、日本教育クリエイト
住宅関連	ケイアイスター不動産、ユミネット
リース	アシボックス

8月20日現在(重複内々定含む)

別表2

No	インターンシップ先
1	(株)アンビションアクト
2	(株)ジュビターテレコム
3	(株)ディスコ
4	(株)ナジック・アイ・サポート
5	(株)よし!ツアー
6	(株)横浜フリースポーツクラブ(横浜FC)
7	(株)横浜八景島
8	(株)ドリーミュージック
9	(株)エデュケーションプランニングDream kids house
10	西三田幼稚園
11	葉山インターナショナルスクール
12	(社)藤沢市観光協会
13	(社)日本ユニセフ協会
14	(特活)地球市民ACTかながわ/TPAK
15	(有)江ノ電沿線新聞社
16	NPOエイブル・アート・ジャパン
17	NPO留学協会
18	オセアニア交流センター(株)
19	グランドホテル湘南
20	スカイビルサービス(株)
21	ヒルトン東京ベイ
22	ヨコハマグランドインターコンチネンタル
23	医療法人柏提会戸塚共立第一病院
24	横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
25	江の島ボウリングセンター
26	三井物産スチール(株)
27	神奈川トヨタ自動車(株)
28	藤沢エフエム放送(株)
29	日本ワーキング・ホリデー協会

## SGS球児の夏 — 球技大会 —



年1回の球技大会(学生会主催)を7月14日(土)に開催しました。体育会系のサークルでさえ週1回の活動しかなく、その他に所属している学生は、高校卒業後ほとんど運動をしていないようです。日頃の運動不足の解消までにはなりません、体を動かしたいという学生の心理でしょうか。職員を含め54名が参加エントリーしました。これには学生会の参加呼びかけが積極的だったことにもあります。朝キャンパスゲートでの告知、1・2年生の授業教室での宣伝が功を奏したようです。

昨年度までは1種目で行ってきましたが、今年は午前中にドッジボール、午後はバレーボールの2種目を実施。いずれも接戦が多く大盛況でした。学生からは、教職員の積極的な参加の要望が出され、次年度は働きかけを強めることを約束しました。

学生には球技大会に止まらず、様々なイベントを企画すべく声を挙げて欲しいと思います。学園祭は毎年あるのに、なぜ体育祭がないのだろうと個々に疑問に感ずる学生もいるのですが、「よし、やってみよう」という気運が高まらないのが現状です。学生がグローバルスタディーズ学部で、より快適な学生生活が送れるよう学生の意見をとりまとめ、大学側と意見調整を行うために学生会という組織がありますので、有効に活用して欲しいと思います。また、学生自身もその中心として活躍することを期待しています。学生時代にしかできないチーム活動は数多くあります。チーム活動に積極的に参加することは、社会に出る上での大切な財産となることをより真摯に考え、学業、課外活動、アルバイトの両立を図ってもらいたいと思います。

## 工場見学に行ってきました

学生課の主催で、6月30日(土)に工場見学会を実施いたしました。場所は、アサヒビール神奈川工場(神奈川県南足柄市)。ビール工場ということで、学生委員会で慎重に議論を重ねました。通常のイベント企画は学生会を中心に行っていますが、他大学での飲酒によるトラブル報告もあり、事務局がしっかりと管理運営をすること、また企画主旨を十二分に参加学生に浸透させることを前提に開催することとしました。

当日は、学生課課長、アサヒビール事業部長、広告代理店社員の3名が全行程引率(バスをチャーターし、多摩大学出発、湘南台駅解散)しました。

今回は、

1. 企業視察の一環として、企業の「環境」への取り組みを学習する場とする。
2. 地元の神奈川工場で、「適正飲酒」「お酒との楽しい付き合い方」について知識・経験を深め、これから社会人になる大学生の一助とする。

を企画主旨として、20歳以上の学生(2年生~4年生)30名が参加しました。

車中では学生会の企画のゲームで大いに盛り上がりました。特に4年生が6名参加、彼らにとっては就職活動のヒントを得ることができ、また後輩達に就職活動の実体験を伝えるなど、内容の濃い話が出るなど、参加者は有意義だったと思います。

現地では、適正飲酒セミナー、アルコールパッチテスト、工場見学を100分ほど行った後、アサヒビールのご厚意で豪華なランチを提供いただき、試飲とともに満喫しました。今回のように学外でのイベントを通じ、学生の意識を高めること、学生間の交流を深めることなどが達せられ、実施してよかったと感じています。今後も社会科見学の場を提供して行きたいと考えています。



## 藤沢市の盆踊りコンテストで入賞



湘南キャンパスのある藤沢市の夏の風物詩として「藤沢宿・遊行の盆」が7月下旬、3日間にわたり開催されました。このイベントは、地域資源である遊行寺(東海道五十三次の宿場町)に伝わり、盆踊りのルーツと言われる「踊り念仏」をモチーフに創作された「遊行おどり」を通じて地域活性化を図るものです。

7月28日(土)には、遊行ばやし(盆踊り)コンテストが行われ、23団体、600名を超える参加があり、SGSは2年連続の参加となりました。学生20名が参加すると多摩大学単独チームを結成しコンテストに出場するところでしたが、残念ながら12名の応募しかなく、昨年に続き大学連合チーム(今年は多摩大学、慶應義塾大学、湘南工科大学)としてエントリーしました。昨年からのメンバー3名に加え、学生会とダンスサークルのメンバーを中心に参加、踊りの先生のもと、本番まで練習が4回と本格的に「盆踊り」を学びました。

当日は、J:COM湘南で完全生中継されました。踊り順が2番手で相当な緊張感の中、提灯の灯りのもと生唄・生演奏に合わせ堂々と踊り終えました。ワクワク、ドキドキの審査発表…結果は、見事「がんばったで賞」を受賞、表彰状と金一封が授与されました。

参加メンバーの終了後の達成感はかなり大きいものでした。すでに来年に目を向けており、最優秀賞を取る意気込みです。盆踊りチーム代表の常盤真央さん(2年)は、「大学連合チームとして参加することは、他大学の学生と交流するメリットはありますが、来年はぜひ『チームSGS』として参加したいです。SGS生の連帯感があってこそ、その上を狙えると思います。わずか20名の参加者なのに、なかなか集まらないのが現状です。SGSの学生がもっと何事に熱くなって積極的に参加して欲しい。SGSの統一の浴衣を着て踊りたい!」と語ってくれました。



多摩大学では、今後共、地域貢献・地域活性化に積極的に関わって行きたいと考えています。8月には、ギネスブック公認の藤沢市の「世界一大きい金魚すくいゲーム」にスタッフとして8名の学生が参加しました。また、9月15日(土)には、今年から江の島で開催される「湘南たから市」のイベントスタッフを担当します。これは、藤沢市にある4大学が、「地域のたから」と位置付けられており、地域独自の地域資産を磨きあげた社会関係資本の情報を交換することで、さらに輝く藤沢市へと発展させる「場」として参加するものです。地元の方や観光客に、多摩大学が藤沢市にあることを認知してもらうほか、SGSの学部内容を分かりやすく情報発信したいと学生達は意気込んでいます。